

不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

- 1 私たちは、子どもたちを守り、育てます。
- 2 私たちは、法令を遵守します。
- 3 私たちは、不祥事を許しません。
- 4 私たちは、地域に開かれた学校にします。

呉市立昭和南小学校
作成責任者 校長 實廣 渉

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○服務研修において、研修担当者ごとに内容の見直しや工夫を行っているが、教職員の普段の行動の徹底につながりにくいことがある。 ○各教職員が年間を通して、個人情報の取り扱いに対する危機意識が持続しにくい状態がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修後、各教職員が「自己の行動計画」を作成し、実践を行う。 ○日々、チェック表で個人情報に関する取り扱いを意識し、適正な取り扱いができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○不祥事防止委員会の中で研修担当者が作成した研修内容を検討し、研修後、各教職員が「自己の行動計画」を作成し、実践ができるよう研修計画を立てる。 ○月ごとの服務研修において、教職員がチェック表で個人情報の取り扱いを全体でチェックできる時間をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○次回の研修で前回の「自己の行動計画」のふりかえりを行う。 ○不祥事防止委員会で、個人情報の管理が確実に行われているか確認する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の情報の共有、特に生徒指導上の対応についての報告・連絡・相談・確認の場が十分に取れていない。 ○時間外勤務を減らしていこうと意識する教職員が増えてきたが、児童・保護者対応で退校時間が遅くなりがちな教職員がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の気になる行動や問題行動は、できるだけ早く、近くの教職員へ報告・連絡・相談を行う。 ○計画的に業務を行い、仕事の分担等各部会で協力し、分掌事務を行う。 ○児童・保護者対応は管理職・主任と連携しチーム対応を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○その日に生じた問題行動等の情報を受けたものは、迅速に管理職や主任へ報告・連絡・相談し、その日にできる対策を練り、対応する。 ○主任を中心に各業務の見直しやスリム化を進め、部内で業務改善を図る。 ○水曜日に加え、木曜日も日課を早め、放課後に、業務ができる時間を確保する。 ○毎週水曜日は定時退校日とする。 ○児童・保護者対応を個人で解決しようとするのではなく組織的に関わる体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○暮会等で生徒指導に関する情報交換を行い、確実に記録を残す。 ○各自、入退校時刻記録をもとに振り返りを行う。 ○管理職が校内を巡視したり、担任等に声をかけたりして児童・保護者の状況を把握する。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールカウンセラー配置に伴う、「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」や「ふれあい相談日」の整合が十分図られていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールカウンセラー配置及び相談活動について、PTA 執行委員及び役員との連携を図り、学校だより等で児童・保護者への周知を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だより等で児童・保護者等に周知するとともに、学校からも個人的にスクールカウンセラーや相談窓口の活用等呼びかける ○情報収集によって察知した問題については、迅速かつ真摯に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期末に児童、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。 ○相談記録簿を作成し、月1回ふれあい相談窓口のメンバーで確認する。

